

## 船舶事故等調査報告書

平成22年2月25日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第234号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年9月20日（日） 13時00分ごろ	
発生場所	神奈川県葉山町長者ヶ崎沖 葉山灯台から真方位205° 3.0海里付近 （概位 北緯35° 14.0′ 東経139° 32.0′）	
事故等調査の経過	平成21年9月24日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A ヨット <sup>ガイア</sup>Gaia、4.7トン 235-46737 神奈川、個人所有</p> <p>B ヨット <sup>ブロス</sup>Bros、3.0トン 235-48317 神奈川、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長、一級小型船舶操縦士</p> <p>B 船長、一級小型船舶操縦士</p>	
死傷者等	負傷 2人（B船乗組員）	
損傷	<p>A スタンション折損、右舷外板に擦過傷</p> <p>B スタンション曲損、右舷外板に擦過傷</p>	
事故等の経過	<p>神奈川県逗子沖でヨットレースが開催され、A船は風上側をポートタックで航行中、B船は風下側をスターボードタックで航行中、A船がB船を右約45° 後方約100mに視認したのち、B船の前を横切れると考えて進んでいる最中にブローチングを起こして速力が低下し、B船と約20mに接近したので風下に舵をとって右転した。</p> <p>B船は、A船が前を抜けようとしている最中に速力を落としたので、A船の船尾を通過しようとして左転した。</p> <p>このため、両船は、平成21年9月20日13時00分ごろ、互いの右舷側中央付近が衝突した。</p> <p>B船の右舷側に足を出していた乗組員5人のうち2人が逃げ遅れて足を負傷した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 東、風力 4、視界 良好</p> <p>海象：波浪 約1m</p>	
その他の事項	<p>インシヨアレースのマーク間距離は約1～1.5海里であった。</p> <p>ヨットレースの公式ホームページによれば、参加艇はヨット保険（賠償責任保険を含む）に加入し、艇及び乗員の損傷、生命に関する全ての責任は艇長にあり、レースへの参加、スタート、リタイアの判断は各艇長に委ねられ、レース主催者は一切関与しないとされている。</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	なし
	判明した事項の解析	A船は、長者ヶ崎沖でヨットレース中、B船の前を横切れると判断してポートタックで進んだ

	<p>が、ブローチングを起こして速力が低下した可能性があると考えられる。</p> <p>A船は、速力が低下してB船と約20mに接近した際の操船が適切でなかったものと考えられる。</p> <p>B船は、船首方を通過しようとしたA船が速力を低下させて接近した際の操船が適切でなかったものと考えられる。</p> <p>A船及びB船は、船体右舷側中央付近同士が衝突したものと考えられる。</p> <p>B船は、衝突の際に逃げ遅れた乗組員が負傷した可能性があると考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、長者ヶ崎沖のヨットレースにおいて、風上のA船が風下のB船の前路を横切る態勢で接近中、両船の操船が適切でなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>